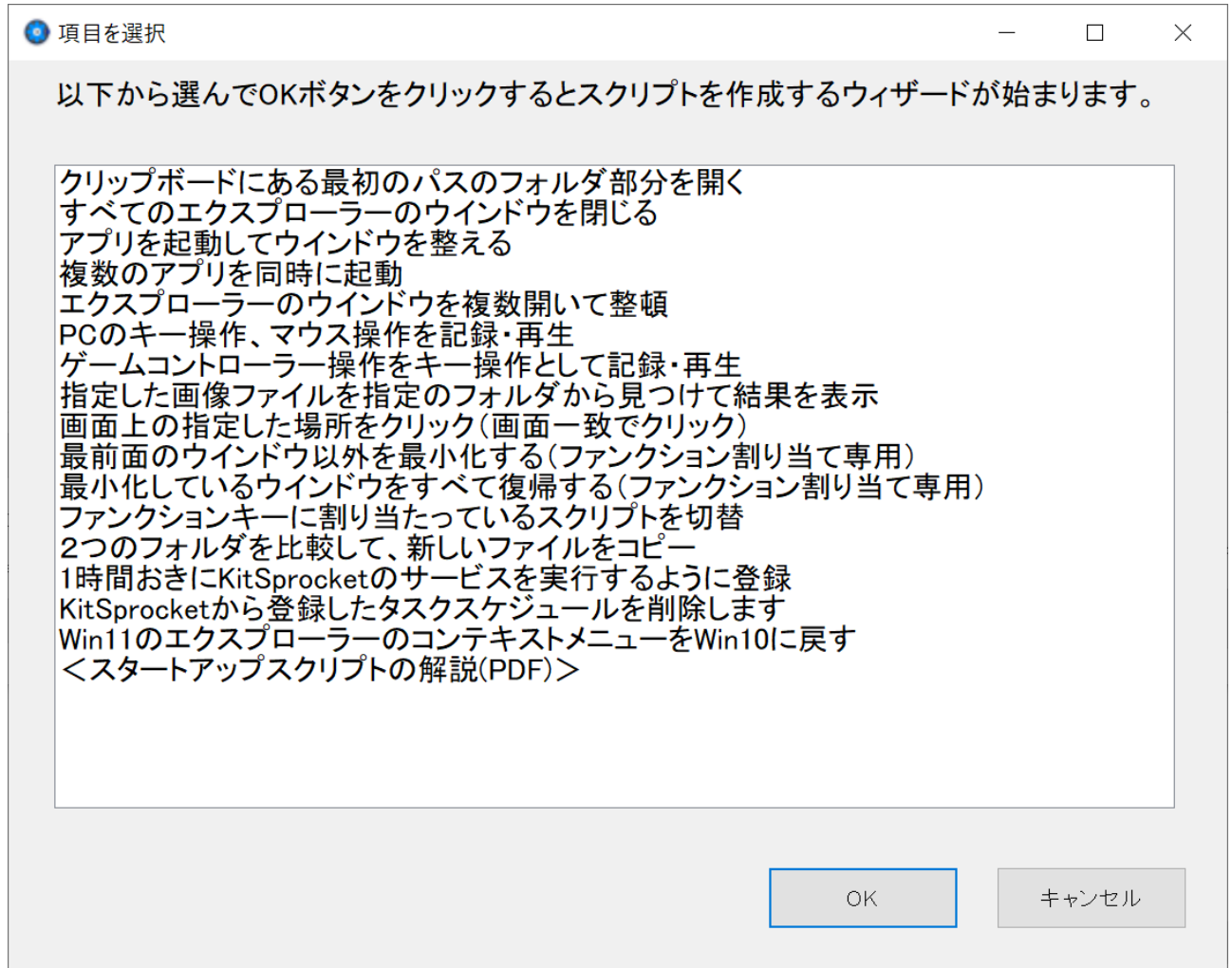


スタートアップスクリプトの解説

スタートアップスクリプトの解説.....	1
スタートアップスクリプトについて	3
<u>各スクリプトの説明</u>	<u>4</u>
■ クリップボードにある最初のパスのフォルダ部分を開く	4
■ すべてのエクスプローラーのウィンドウを閉じる	4
■ アプリを起動してウィンドウを整える.....	4
■ 複数のアプリを同時に起動	5
■ エクスプローラーのウィンドウを複数開いて整頓	6
■ PC のキー操作、マウス操作を記録・再生	8
■ ゲームコントローラー操作をキー操作として記録・再生.....	9
■ 指定した画像ファイルを指定のフォルダから見つけて結果を表示	12
■ 画面上の指定した場所をクリック(画面一致でクリック).....	12
■ 最前面のウィンドウ以外を最小化する.....	13
■ 最小化しているウィンドウをすべて復帰する	13
■ ファンクションキーに割り当たっているスクリプトを切替	13
■ 2つのフォルダを比較して、新しいファイルをコピー.....	13
■ 1 時間おきに KITSPROCKET のサービスを実行するように登録.....	14
■ KITSPROCKET から登録したタスクスケジュールを削除します	14
■ WIN11 のエクスプローラーのコンテキストメニューを WIN10 に戻す	14

スタートアップスクリプトについて

KitSprocket では、スクリプトを書かずにパソコンの操作を自動化できるように、スタートアップスクリプトを内蔵しています。初期設定では起動時に自動で開き、あるいは編集画面で右クリックして「スタートアップスクリプトを実行」を実行することで利用できます。



各スクリプトの説明

■クリップボードにある最初のパスのフォルダ部分を開く

チーム作業をしていて、メールでサーバーにあるファイルのフォルダを渡されても、そのファイルのあるフォルダを開きたいことがよくあります。このスクリプトはそのような場合に使うことで、ファイル名部分を見捨ててフォルダ部分を切り取り、エクスプローラーでフォルダを開きます。

クリップボードに乗せるテキストはきちりパスの部分である必要はなく、メール本文内でサーバーパスがある部分を見つけ出して処理できるようになっています。

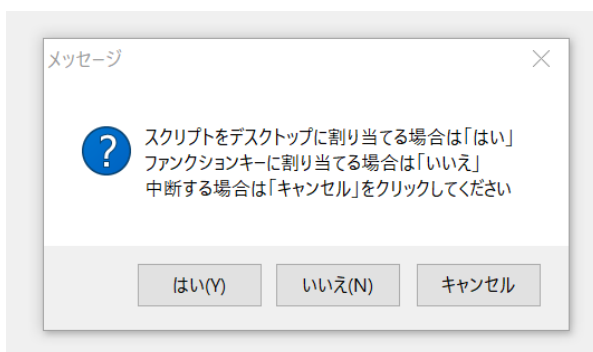
■すべてのエクスプローラーのウィンドウを閉じる

すべてのエクスプローラーのウィンドウを閉じます。Windows ではタスクバーの設定で、タスクバーボタンを結合していない場合、すべてのウィンドウを閉じる方法がなくなります。そのような場合に使用します。

■アプリを起動してウィンドウを整える

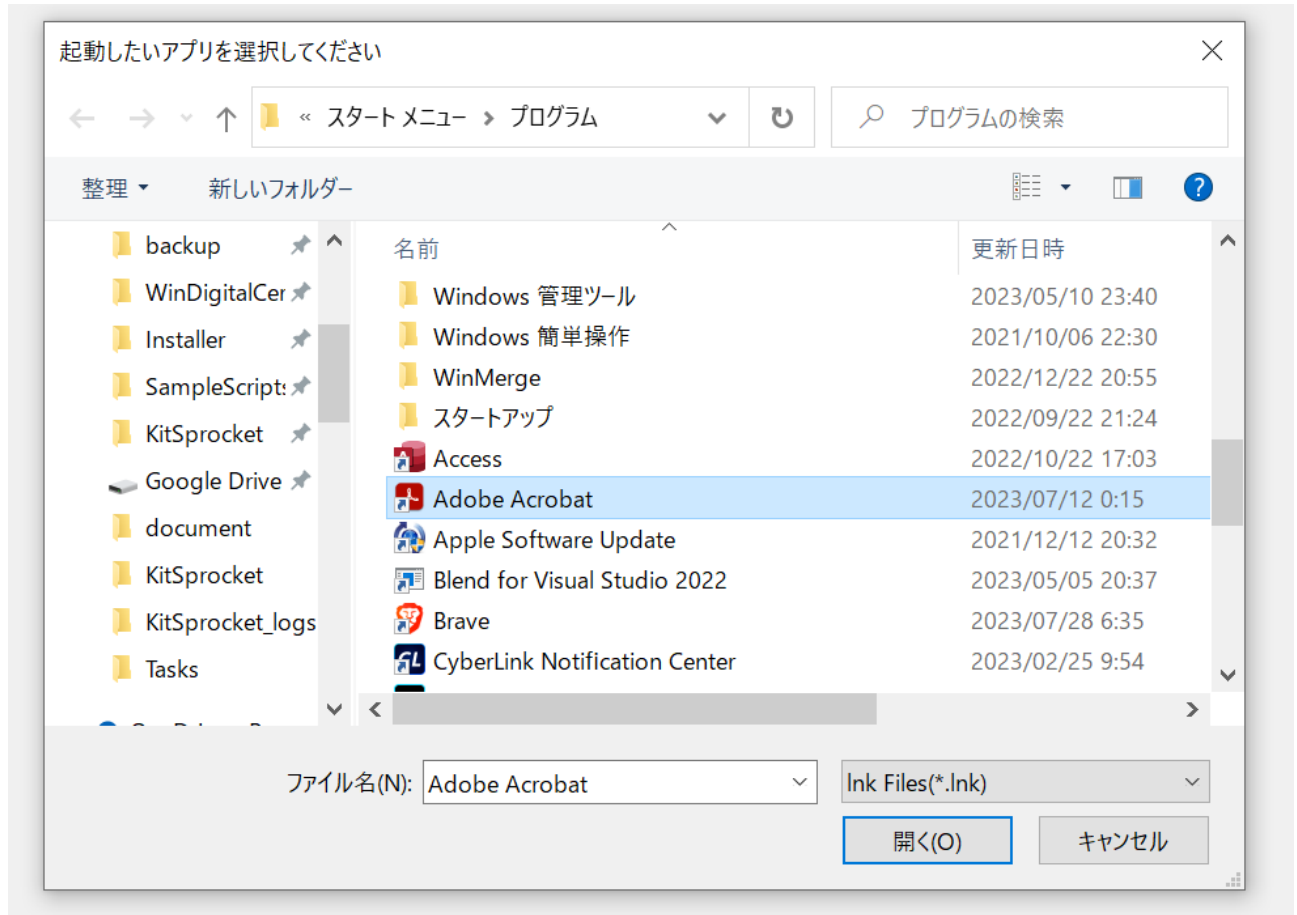
アプリを起動して、起動後にウィンドウを任意のサイズに変更するスクリプトを作成します。メモ帳を画面右下にサクッと表示させたかったり、PDF ビューアをつねに目的のサイズと位置に表示させたい場合などにご利用ください。

1. スクリプトを実行後、スクリプトをどのように利用するかを選択するダイアログが出てきますので、デスクトップ上にショートカットを作成したい場合は「はい」ファンクションキーに割り当てたい場合は「いいえ」を選びます。

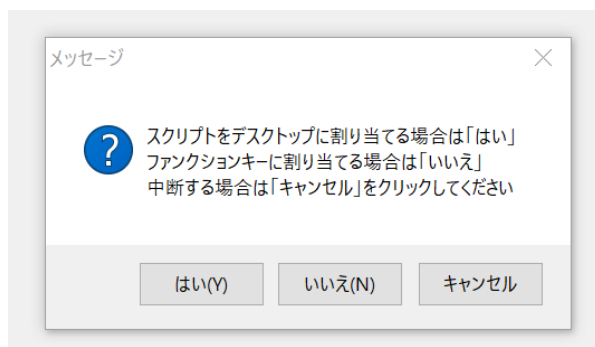


KitSprocket コマンドリファレンス

2. 起動時の説明メッセージを OK で閉じるとアプリの選択ダイアログが表示されます。



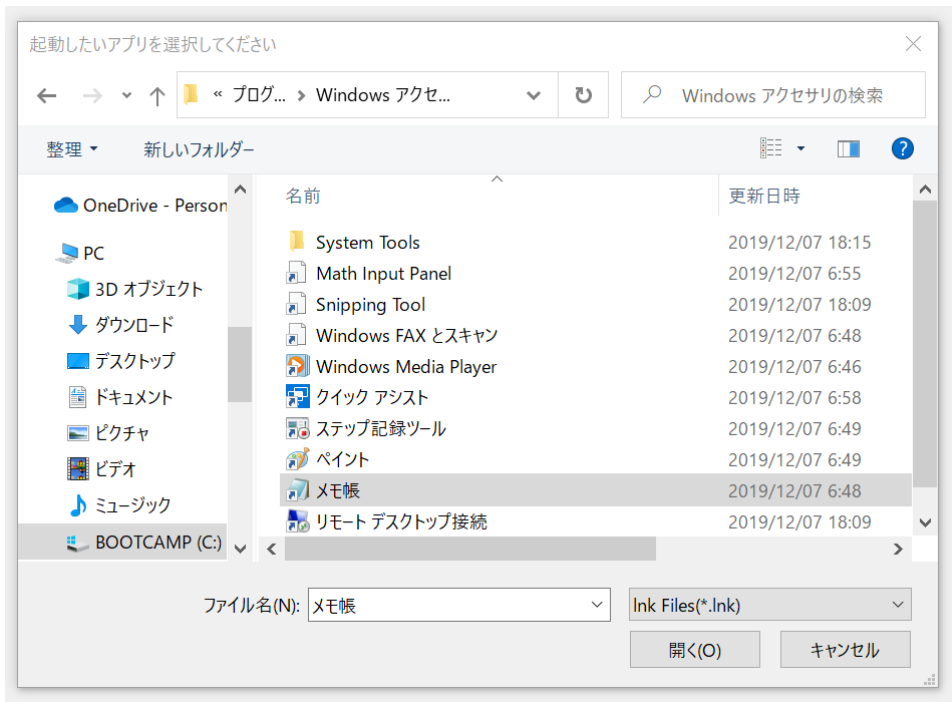
3. 利用したいアプリのショートカットを選択して「開く」ボタンをクリックしてください。確認ダイアログを OK したらアプリが起動します。
4. アプリが起動したら、ウインドウサイズをマウスドラッグなどで変更後「・・・調整が終わったら OK ボタンを押してください」と表示されたダイアログを OK で閉じます。これでスクリプトは完成
5. スクリプトをどのように利用するかを選択するダイアログが出てきますので、デスクトップ上にショートカットを作成したい場合は「はい」ファンクションキーに割り当てたい場合は「いいえ」を選びます。



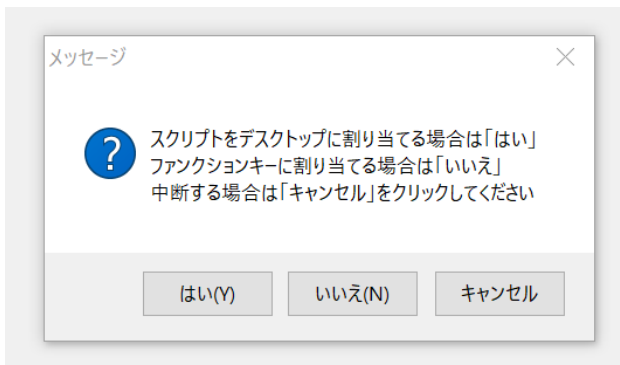
■複数のアプリを同時に起動

ワンアクションで複数のアプリを起動するスクリプトを作成します。

1. 最初のメッセージを OK で閉じたら、アプリを選択するダイアログが表示されます。「開く」ボタンを押してもすぐにアプリ選択ダイアログがでてきますので、違うアプリを選んでいきます。終了する場合は、このダイアログで「キャンセル」をクリックします。



2. スクリプトをどのように利用するかを選択するダイアログが出てきますので、デスクトップ上にショートカットを作成したい場合は「はい」ファンクションキーに割り当てたい場合は「いいえ」を選びます。

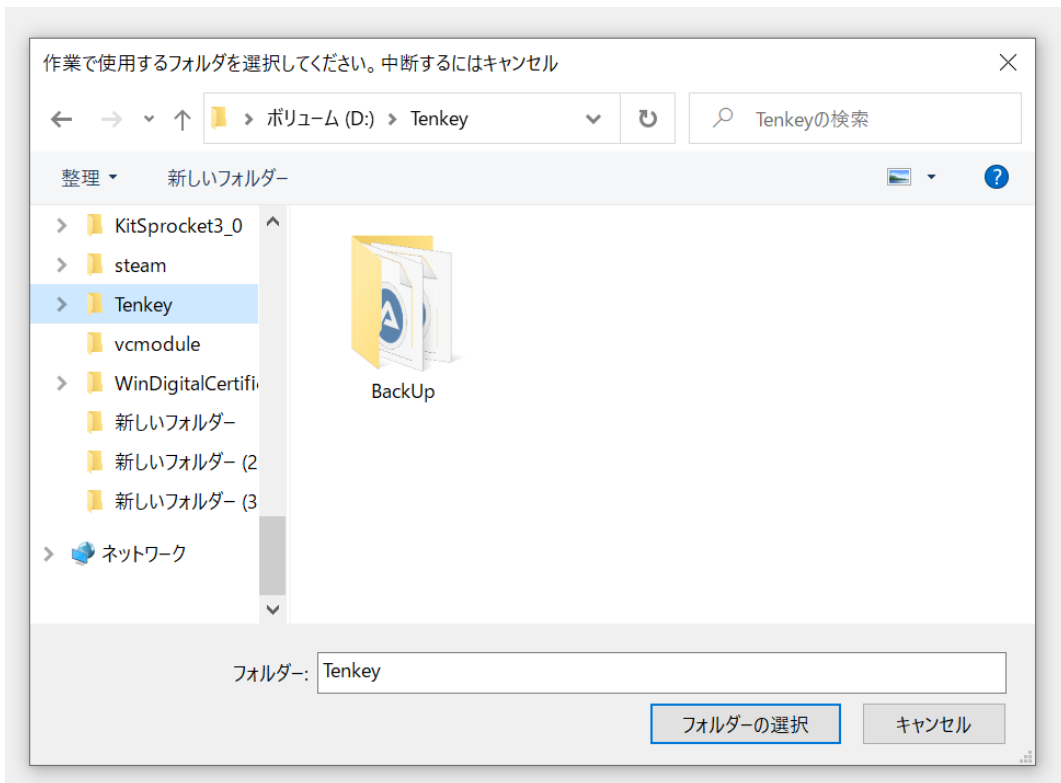


■エクスプローラーのウィンドウを複数開いて整頓

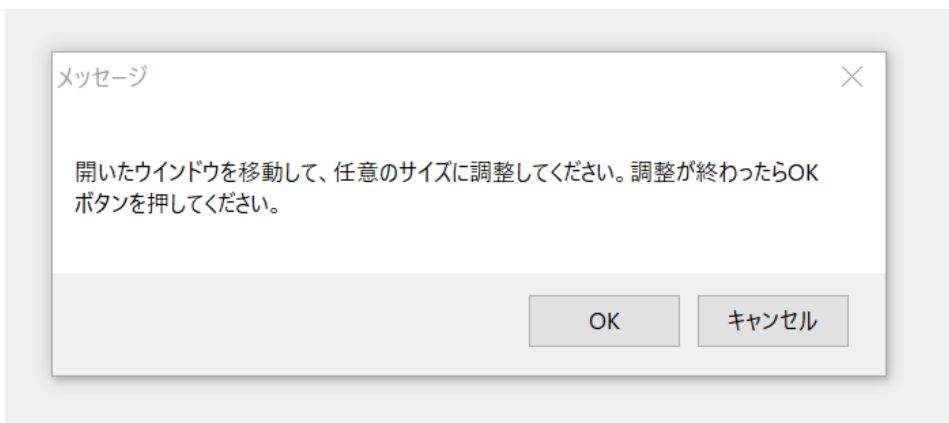
フォルダを複数開いて整列させ、作業をしやすくします。

KitSprocket コマンドリファレンス

1. 最初のメッセージを OK で閉じたら、フォルダを選択する画面になりますので、利用したいフォルダまで移動し、「フォルダーの選択」をクリックします。



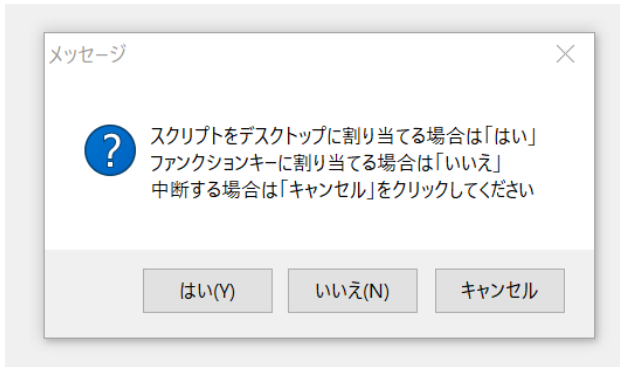
2. 「開いたウィンドウを移動して、任意のサイズに調整してください・・・」のメッセージを表示させたまま、開いたウィンドウの位置とサイズを調整します。調整が終わってからメッセージを閉じます。



(※サイズ調整が終わるまでこのダイアログを閉じないでください)

3. 「開いたウィンドウを移動して、・・・」のダイアログを OK で閉じると、再びフォルダを選択する画面になるので 1～2 を繰り返します。終わる場合は「キャンセル」をクリックしてください。
4. スクリプトをどのように利用するかを選択するダイアログが出てきますので、デスクトップ上にショートカットを作成したい場合は「はい」 ファンクションキーに割り当てたい場合は「いいえ」を

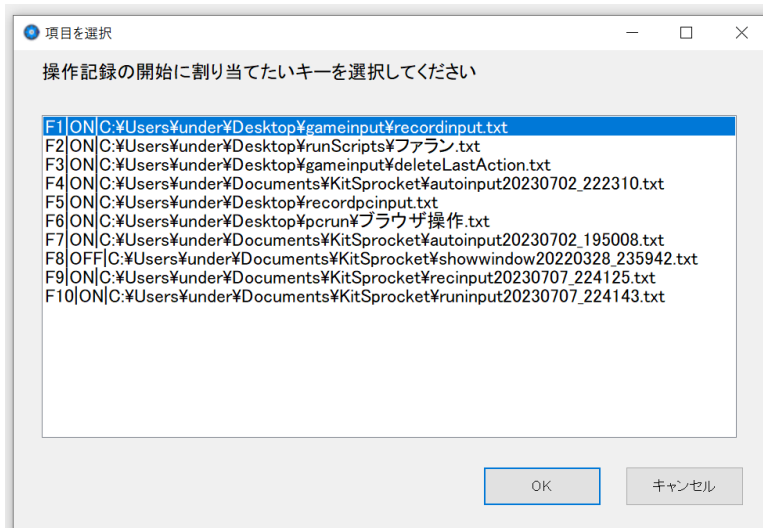
選びます。



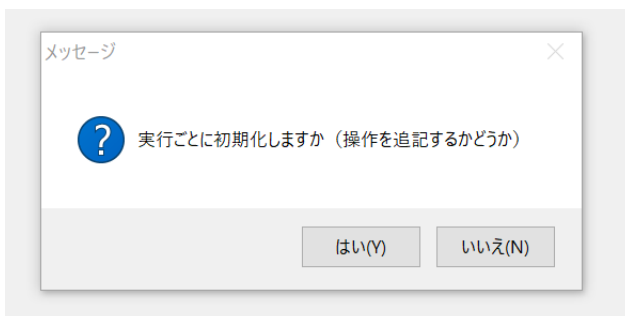
■PCのキー操作、マウス操作を記録・再生

パソコンのキー操作、マウス操作を記録するスクリプトおよび実行するスクリプトをファンクションキーに登録します。合計2つのファンクションキーが必要になります。

1. 最初のメッセージを OK で閉じたら、ファンクションキーの一覧が表示されます。まずは記録開始を行うファンクションキーを選びます。(F1 キーを選ぶと想定します)

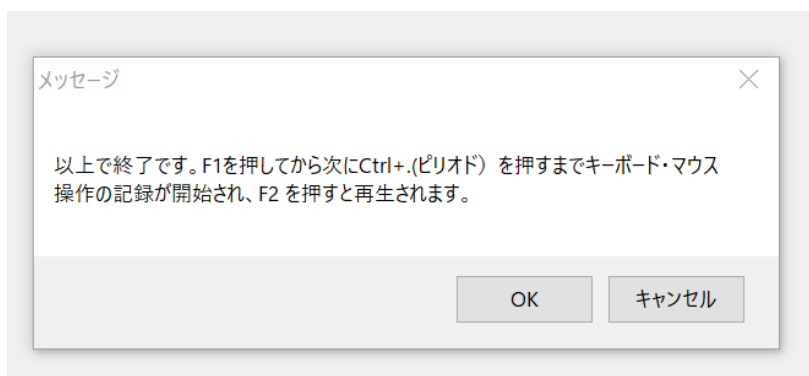


2. 「ファンクションキー：F1 に～を割り当てました」と表示されたら OK ボタンを押します。
3. 次に、記録した結果を実行するファンクションキーを選びます。(F2 を選択すると想定します) 選び終わったら「実行ごとに初期化しますか（操作を追記するかどうか）」とダイアログが表示されますので、好きなほうを選びます。慣れないうちは「いいえ」がおすすめです。



KitSprocket コマンドリファレンス

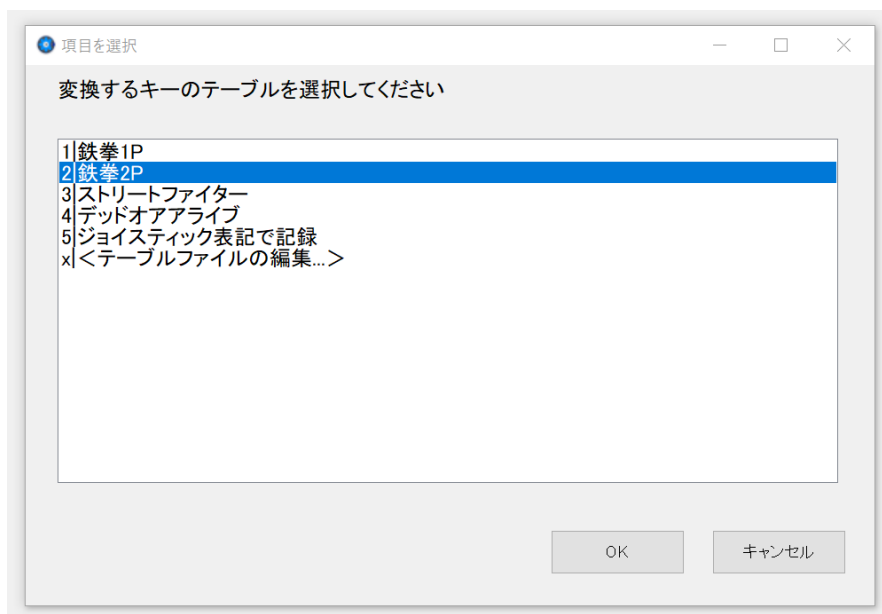
4. 以下のような終了メッセージが出たら完了です。F1 キーを押すと記録開始、F2 キーを押すと記録した内容を実行します。



■ゲームコントローラー操作をキー操作として記録・再生

ゲームパッドやアーケードスティックなどのゲームコントローラーの操作をキーボード操作に変換して記録します。ファンクションキーに記録と再生を割り当てます。ゲームコントローラをパソコンに接続した状態で利用を開始してください。

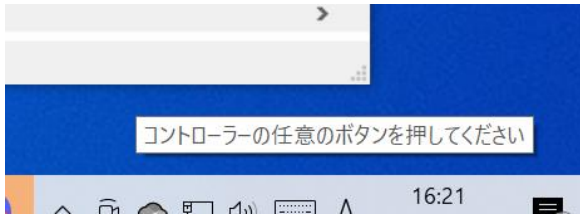
1. 最初に変換テーブルを選択します。該当するゲームがない場合は、鉄拳 2P を選ぶと方向操作が矢印キーになるので、それに対応できそうであればそれを。〈テーブルファイルの編集..〉を実行して、どの操作をどのキーに割り当てるかを編集することもできます。



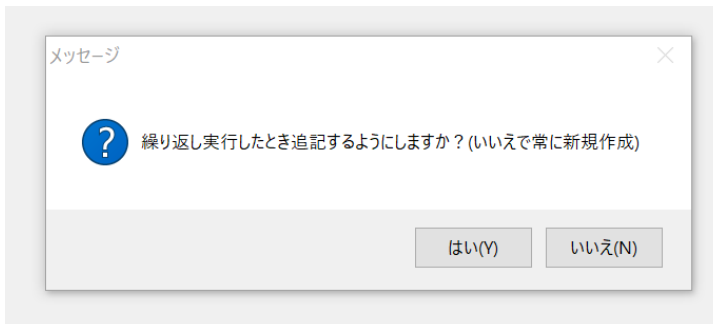
2. 「次にゲームコントローラーを検出・・・」のメッセージがでたら、ゲームコントローラーが接続されているのを確認して OK ボタンをクリックします。その後、画面右下に以下のメッセージがで

KitSprocket コマンドリファレンス

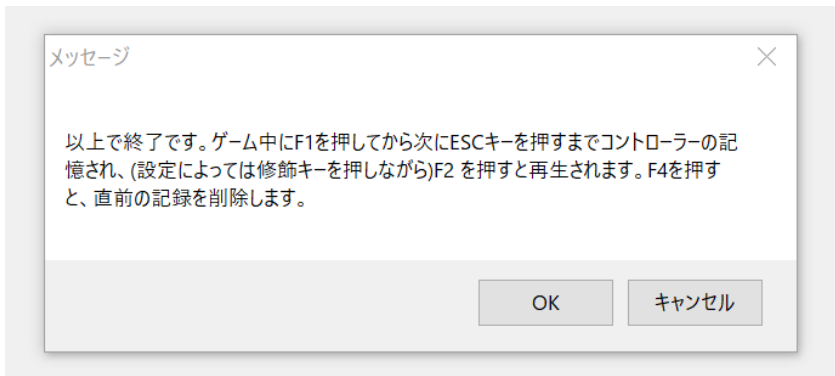
ますので、その間にゲームコントローラーのボタンをなにか1度だけ押してください



3. ファンクションキーを選択する画面になりますので、記録操作を行うファンクションキーを選んでください
4. 記録結果を実行するファンクションキーを選んでください
5. 「繰り返し実行したときに追記・・・」を「はい」「いいえ」で答えてください。最初は「いいえ」がおすすめです。



6. 「最後の実行を取り消すスクリプトをファンクションに登録しますか？」のメッセージで「はい」か「いいえ」を選びます。これは、操作を記録した直後に記録を取り消すことができるスクリプトを別のファンクションキーに登録します。はい を選ぶとファンクションキーを選択する画面になります
7. 最後の確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押して終了です。



【このスクリプトの使い方例（鉄拳7の場合）】

記録

1. 練習モード(OFFLINE > PRACTICE)を開始します
2. 連続再生の記録 などを利用して、相手キャラを操作できる状態にします
3. 記録するファンクションキーを押して、キャラを操作します
4. 記録を終了するにはキーボードの[ESC]キーを押します

KitSprocket コマンドリファレンス

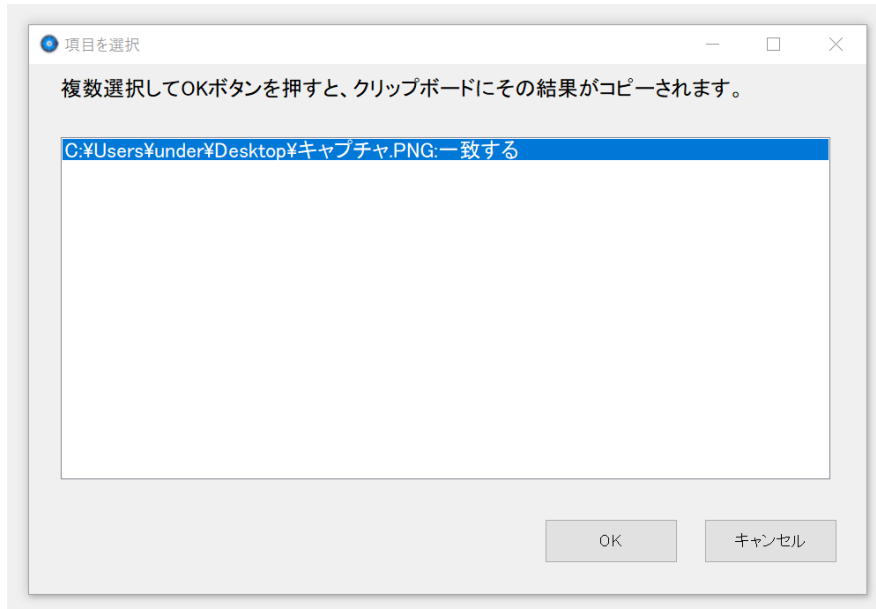
再生

1. 練習モード(OFFLINE > PRACTICE)を開始します
2. 相手の行動 を コントローラーにします
3. 1P をゲームコントローラー、2P を記録した操作の再生としたい場合、設定を閉じるときに 1 PLAYER 側では コントローラーのスタートボタンを押し、2PLAYER では キーボードの Home キーを押します (鉄拳 2P テーブルの場合)
4. 再生するファンクションキーを押すと 2P 側がスクリプトによって動作します (実行を中断するには Ctrl キーを押しながらピリオド (.) キーを押します。

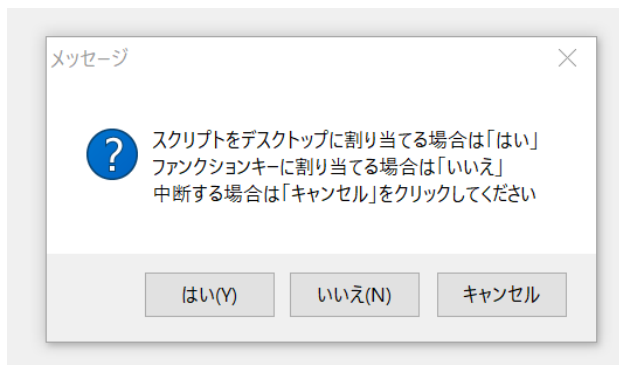
■指定した画像ファイルを指定のフォルダから見つけて結果を表示

重複した画像がないかを調べるツールを作成します。

1. 重複を見つけたい 画像ファイルを選びます
2. 重複を見つける場所（フォルダ）を選択します
3. 重複した画像が見つかったら一覧が表示されます。



4. スクリプトをどのように利用するかを選択するダイアログが出てきますので、デスクトップ上にショートカットを作成したい場合は「はい」ファンクションキーに割り当てたい場合は「いいえ」を選びます。

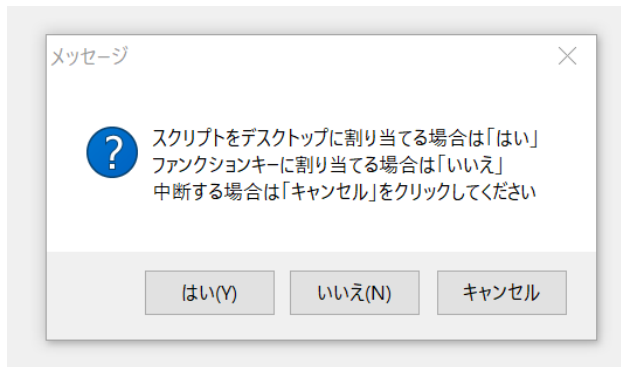


■画面上の指定した場所をクリック(画面一致でクリック)

スクリーンショットなどの画面イメージに該当する場所を画面上から見つけてその場所の中央をクリックします。

KitSprocket コマンドリファレンス

1. 最初のメッセージを OK ボタンで閉じた後、画面を操作可能な状態になります。記録したい画面に切り替えて、esc キーを押すとマウスが + の形に変わるので、画像検出したい範囲をドラッグして指定します。
2. 「動作確認しますか？」で動作を確認できます。
3. スクリプトをどのように利用するかを選択するダイアログが出てきますので、デスクトップ上にショートカットを作成したい場合は「はい」 ファンクションキーに割り当てたい場合は「いいえ」を選びます。



■最前面のウィンドウ以外を最小化する

たくさん開いたウィンドウが邪魔になるとありますが、それらを最小化するスクリプトをファンクションキーに登録します

■最小化しているウィンドウをすべて復帰する

最小化しているウィンドウをすべて元のサイズに戻すスクリプトをファンクションキーに登録します

■ファンクションキーに割り当たっているスクリプトを切替

キー操作の記録などで実行する側のスクリプトの登録を切り替えたい場合に、こちらを利用してください。特定のフォルダにあるテキストファイルを一覧し、選択したファイルをファンクションキーに割り当て直す操作が行えます。「PC のキー操作、マウスの操作を記録・作成」と「ゲームコントローラの操作をキー操作として記録・再生」で登録する“実行”のスクリプトは、このスクリプトにより切り替え可能です

(これらのスクリプトは記録時にファンクションキーに割り当たっているファイルを取得してそのファイルを上書きします)

■2つのフォルダを比較して、新しいファイルをコピー

2つのフォルダを選択すると、そのフォルダの中を比較して新しいものや追加されたものをコピーします。

■1 時間おきに KitSprocket のサービスを実行するように登録

上記「2つのフォルダを比較して、新しいファイルをコピー」のスク립トなどを1時間おきに実行するタスクスケジュールを登録します。

■KitSprocket から登録したタスクスケジュールを削除します

上記で登録したタスクスケジュールを削除します。

■Win11 のエクスプローラーのコンテキストメニューを Win10 に戻す

Win11 のエクスプローラーのコンテキストメニューが使いづらいので、Win10 に似たスタイルに戻す裏ワザを設定できます。設定を解除するにはもう一度このスク립トを実行します。

キットワークス株式会社では、製品に関するご意見・ご要望を広くお待ちしております。
今後の製品への参考とさせていただきますので、ぜひ皆様のご意見をお聞かせください。
ご意見・ご要望は、下記のキットワークスホームページで承っております。

<https://kitworksinc.com/>

<https://kitworksinc.com/オリジナルアプリ/sprocket/>

写真、イラストなどの著作権等に関するお知らせ

著作物を利用するときは、著作権者の承諾を得ることが必要です。

写真、イラストなどの創作物の多くは著作物として著作権法により保護されています。本製品のご使用に当たり、第三者の権利を侵害することのないよう、ご注意ください。

- 複製について 第三者が作成した著作物を、私的使用の範囲を超えて複製したり、送信したりする場合には、著作権者の承諾が必要です。複製とは、電子的な著作物をコピーする他、出版物に掲載された著作物をスキャナー等で電子化したり、電子化さ

れた著作物をホームページのディスクにアップロードするような行為を含みます。

- 改変について 同様に、著作物を改変する場合も、著作者や著作権者に確認してください。著作物の内容を変えたり省いたりすることはもちろん、題名を変えたり、写真をトリミングすることも改変にあたります。

- 人物の写真には肖像権が発生します 写真に判別可能な人物が撮影されている場合、その写真には肖像権が及びます。人物写真を利用するときは、撮影者の承諾を得るだけでなく、写っている人物からも肖像を利用することへの承諾を得ることが必要で

- 「KitSprocket」にかかる著作権、その他の権利はキットワークス株式会社および各権利者に帰属します。
- 「KitSprocket」は、キットワークス株式会社の商標または登録商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本マニュアル(紙媒体または電子データで提供するものを含みます)はキットワークス株式会社が作成したものであり、マニュアルの著作権は、キットワークス株式会社に帰属します。使用許諾契約書の条項のほか、以下の点も合わせてご確認ください。

1. お客様は、マニュアルを現状の内容のまま、もしくは編集・修正して、画面上もしくは紙資料として利用することができます。ただし、これを第三者へ提供したり、貸し出しすることはできません。
2. マニュアルの内容の一部または全部を、キットワークス株式会社の書面による許可なく複写、複製して頒

KitSprocket

発行者 木下幹司

発行所 キットワークス株式会社

〒 770-8024 徳島県徳島市西須賀町鶴島 47-13

第 3.2 版